






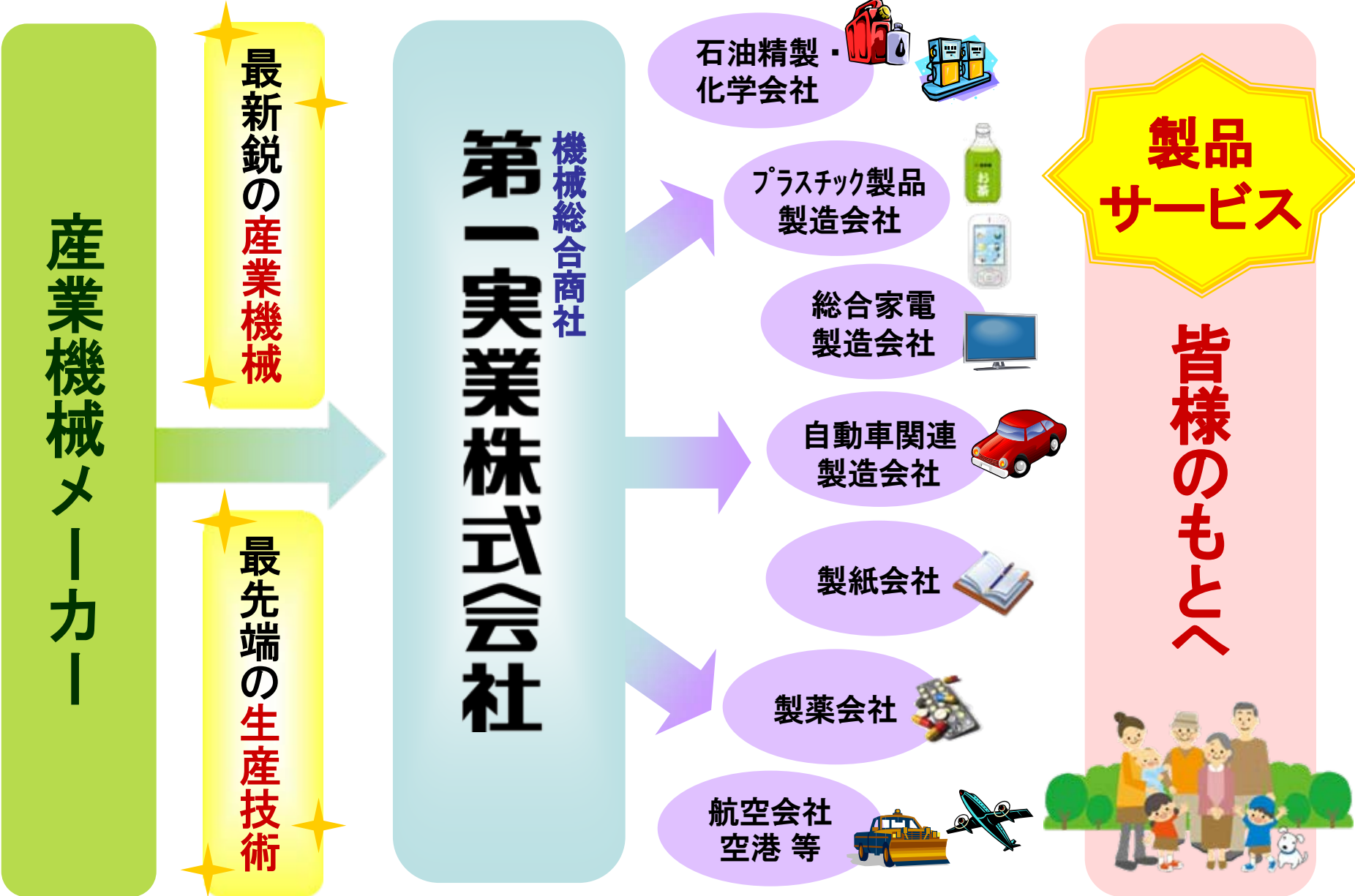
# 第一実業株式会社

## DAIICHI JITSUGYO CO., LTD.

証券コード:8059

-  主な事業内容
-  DJKの強み
-  業績について

2011年7月16日(土)  
代表取締役社長 山片康司



産業機械メーカー

最新鋭の産業機械

最先端の生産技術

第一実業株式会社  
機械総合商社

石油精製・化学会社

プラスチック製品製造会社

総合家電製造会社

自動車関連製造会社

製紙会社

製薬会社

航空会社 空港等

製品サービス

皆様のもとへ

# 主な事業内容

1. エネルギー関連
2. エレクトロニクス関連
3. プラスチックス関連
4. 自動車関連
5. 製薬・創薬関連
6. その他



### エネルギー開発に関連するあらゆるプラント装置に特化

これまでに培ってきた豊富な経験と確かな技術を背景に、省エネルギー、石油代替エネルギー、環境保全など、新しいテーマに積極的に取り組んでいます。



小型バイナリー発電設備



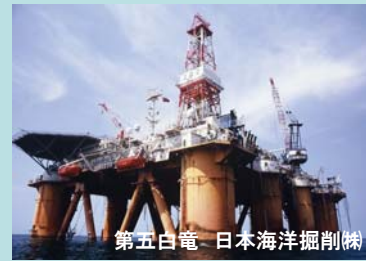
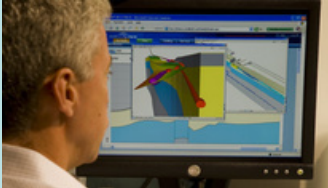
### 石油資源



太陽光発電設備

トータルサポート

### 石油資源関連



調査・コーディネート

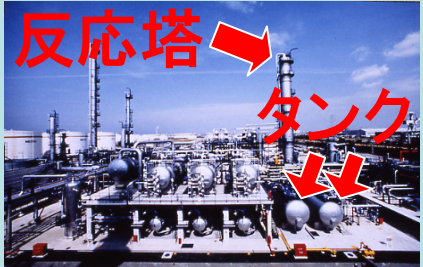
掘削機器

精製プラント

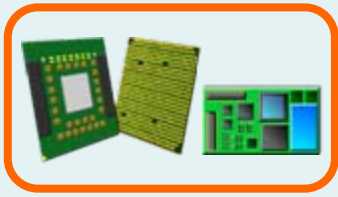
### ガス・石油化学プラント

エンジニアリング・建設・メンテナンス、また、土壌汚染等についてのコンサルティング業務に至るまできめ細やかな対応をしています。

- ・コンプレッサー
- ・リアクター
- ・タンク
- ・各種反応塔



例



外枠  
(プラスチック)

# 電子回路形成技術を核とし、ものづくりプロセスの改革に貢献

電子部品実装(SMT)、半導体・液晶モジュール組み立て分野において、各種基板検査装置、周辺機器、電子材料等をトータルに提供しています。

## 電子部品実装装置

高速スクリーン印刷機

超高速モジュラーマウンター

リフロー炉



はんだ印刷検査装置

**DJTECH**





例



### プラスチック製品製造装置に幅広く対応

プラスチック成形機以外にも成形工程に必要な装置をトータルに取扱っています。近年は、プラスチック以外にもアルミ製品を製造するための装置であるダイカストマシンの拡販にも注力しています。

### 各種成形機

大型成形品



小型成形品



### 製品

家電のプラスチック部分、ペットボトル 等



携帯電話、デジタルカメラレンズ、文房具などの細かなプラスチック部分 等



### エレクトロニクス・プラスチック関連のノウハウを活かし、 大手自動車関連メーカーに多数の実績

近年は、EV・HVなどに搭載されているリチウムイオン電池・LED・大電流基板などの  
新技術に対応した製造設備の納入実績があります。

#### 樹脂部品成形・塗装・自動組立



#### 電子制御部品実装



#### アルミ部品鋳造



# 医薬品等3次元外観検査装置および最新包装ラインなどの 新商品をラインアップ

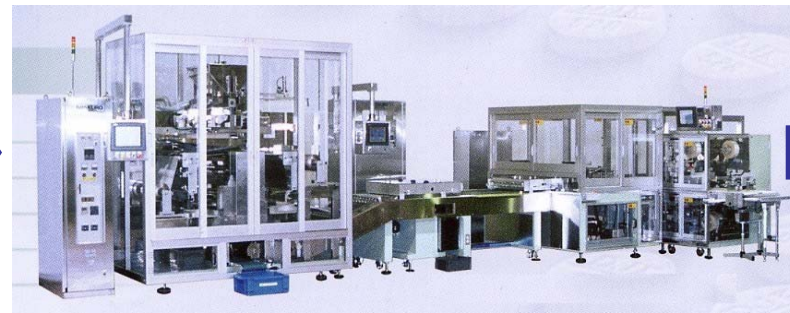
ジェネリック薬品の需要拡大が予想される新興国での拡販に注力しています。  
高機能・多様化に対応した付加価値の高い商品群で営業展開をしています。




**医薬品外観検査装置  
開発・設計・製作**



PTP包装ライン



四方シール包装ライン





空港関連

空港施設関連機器の  
総合サプライヤー

国内各地の空港に数多くの納入実績を持ち、空の輸送をサポートしています。



◀ デアイサー



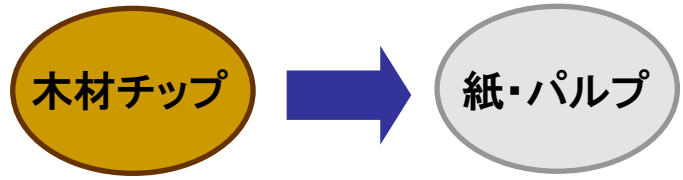
▶ トーイングトラクター

現在日本全国で活躍しているデアイサー約200台のうち、当社が輸入販売しているデアイサーは130台を超えます。

紙・パルプ関連

製紙・紙工機械機器の提供

調木→蒸解→薬品回収→洗浄→抄紙→仕上げ  
各工程別の機械をトータルに取扱っています。



紙・パルププラント



排煙脱硫装置



ウォッシャー



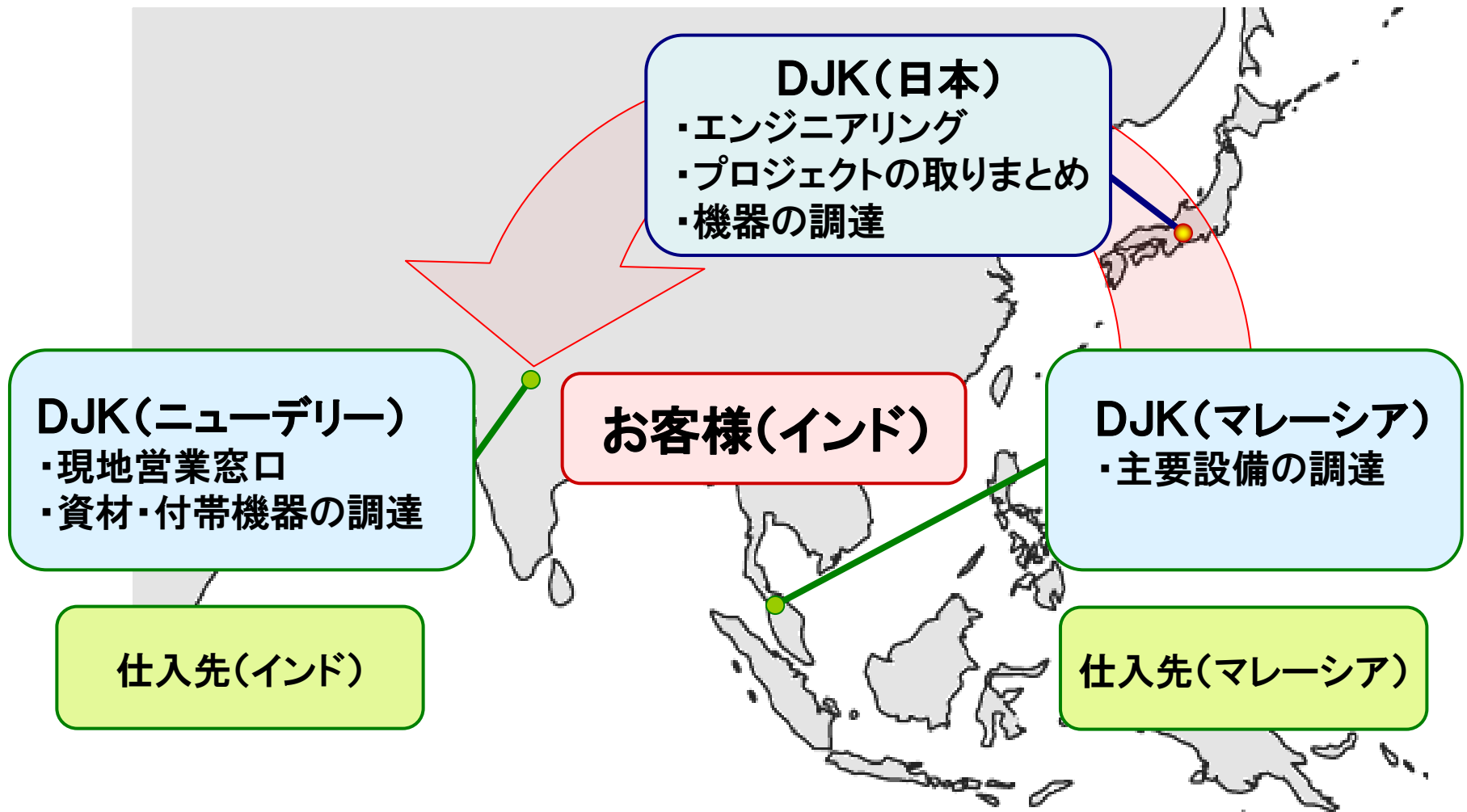
圧送ポンプ

# DJKの強み

1. ビジネスモデル-①
2. ビジネスモデル-②
3. 海外拠点
4. 国内拠点
5. ソリューション
6. 新しい取組み
7. 小型バイナリー発電設備  
について

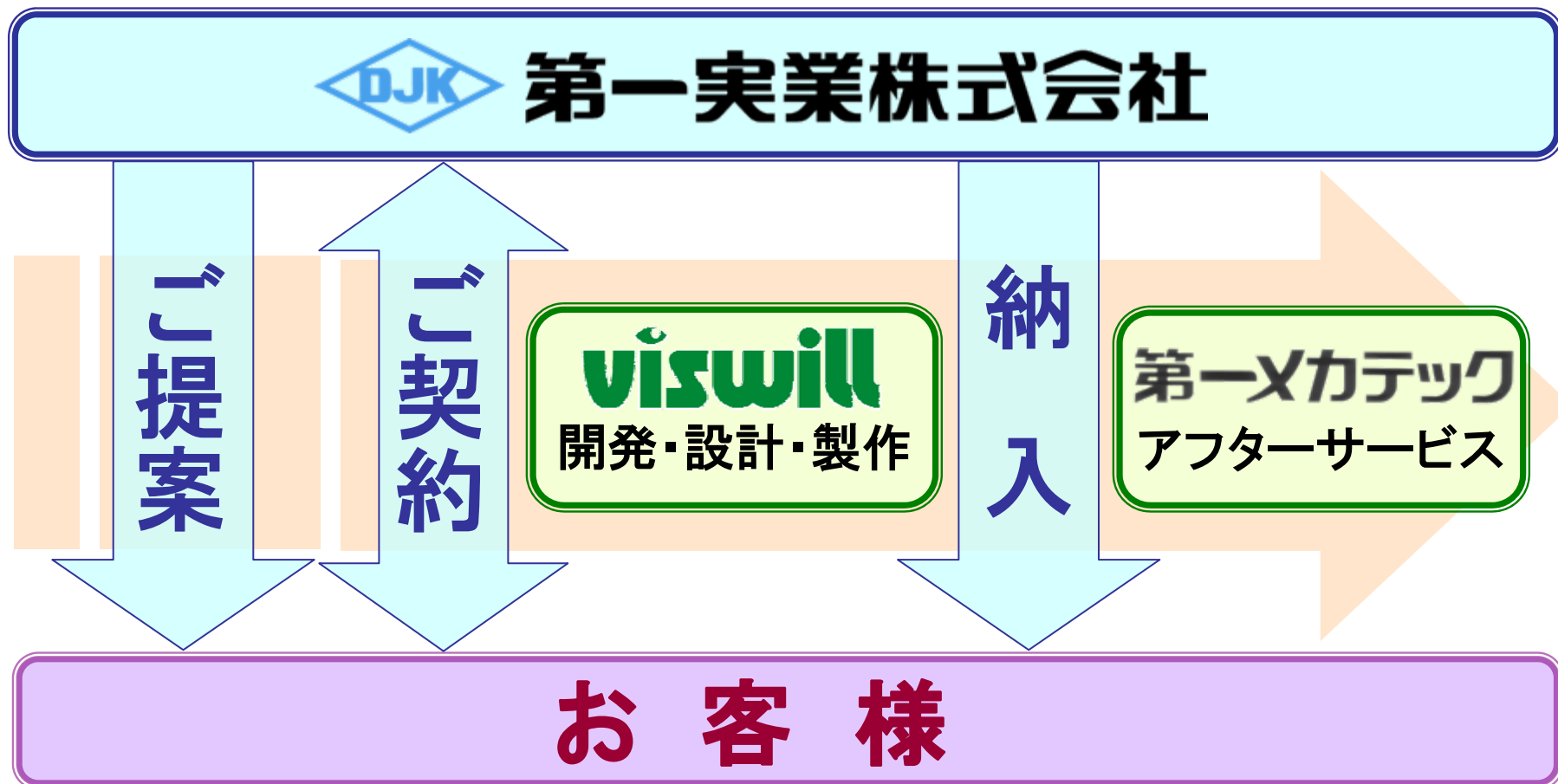


# 例① グローバルプロジェクト



グローバルネットワークを活かし大型設備をインドのお客様に納入

## 例② 医薬品等外観検査装置ビジネス



グループ会社の技術力を結集し、トータルサポートを実現



## 世界18ヶ国31都市に事業所を持ち、各国のお客様に迅速に対応

### 欧州

フランクフルト  
プラハ ブダペスト

### 中国

上海 天津 蘇州 広州  
重慶 香港 深セン 台北

### 米州

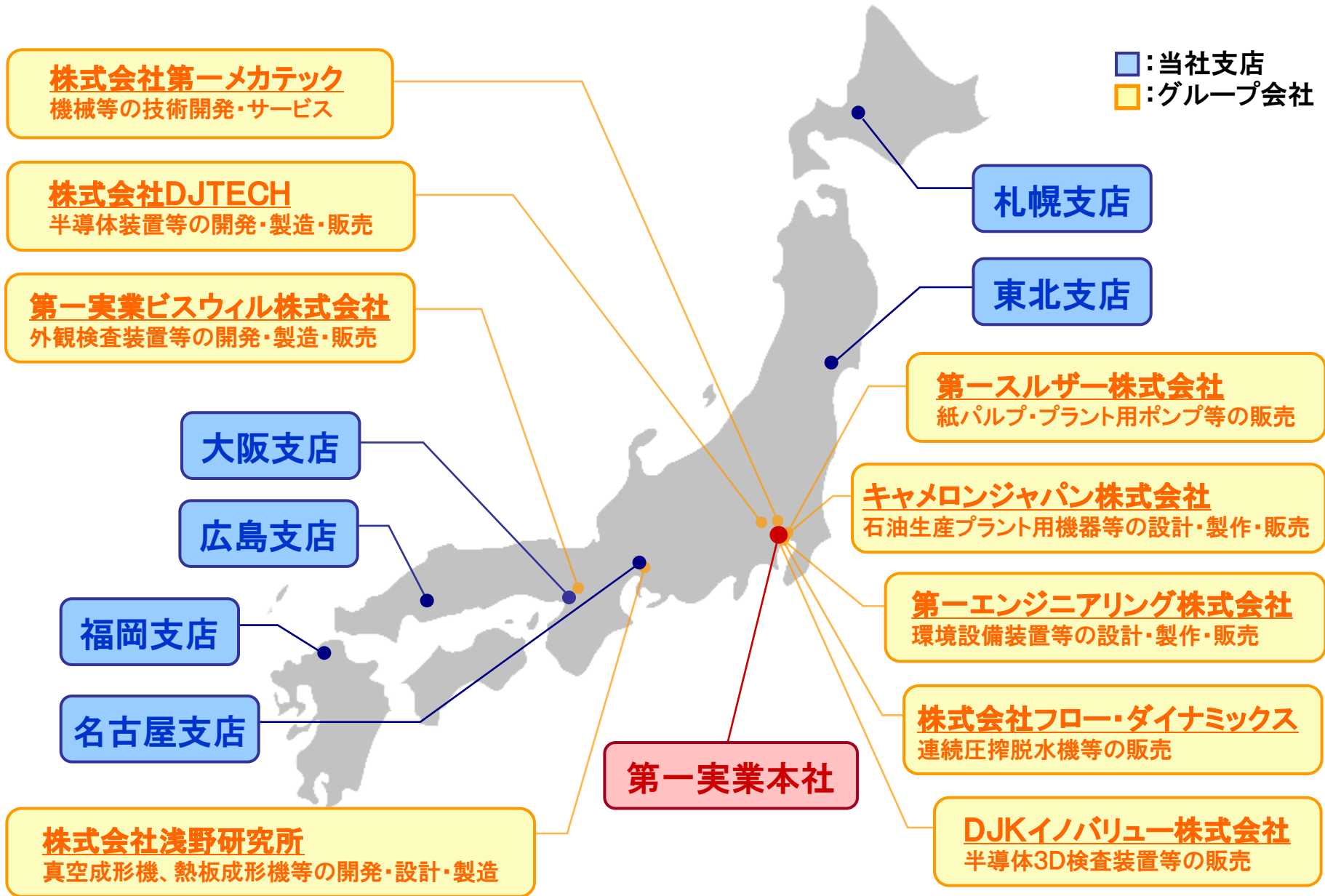
シカゴ ティファナ  
ヒューストン モントレー  
ノックスビル サンパウロ  
プエルトリコ マナウス

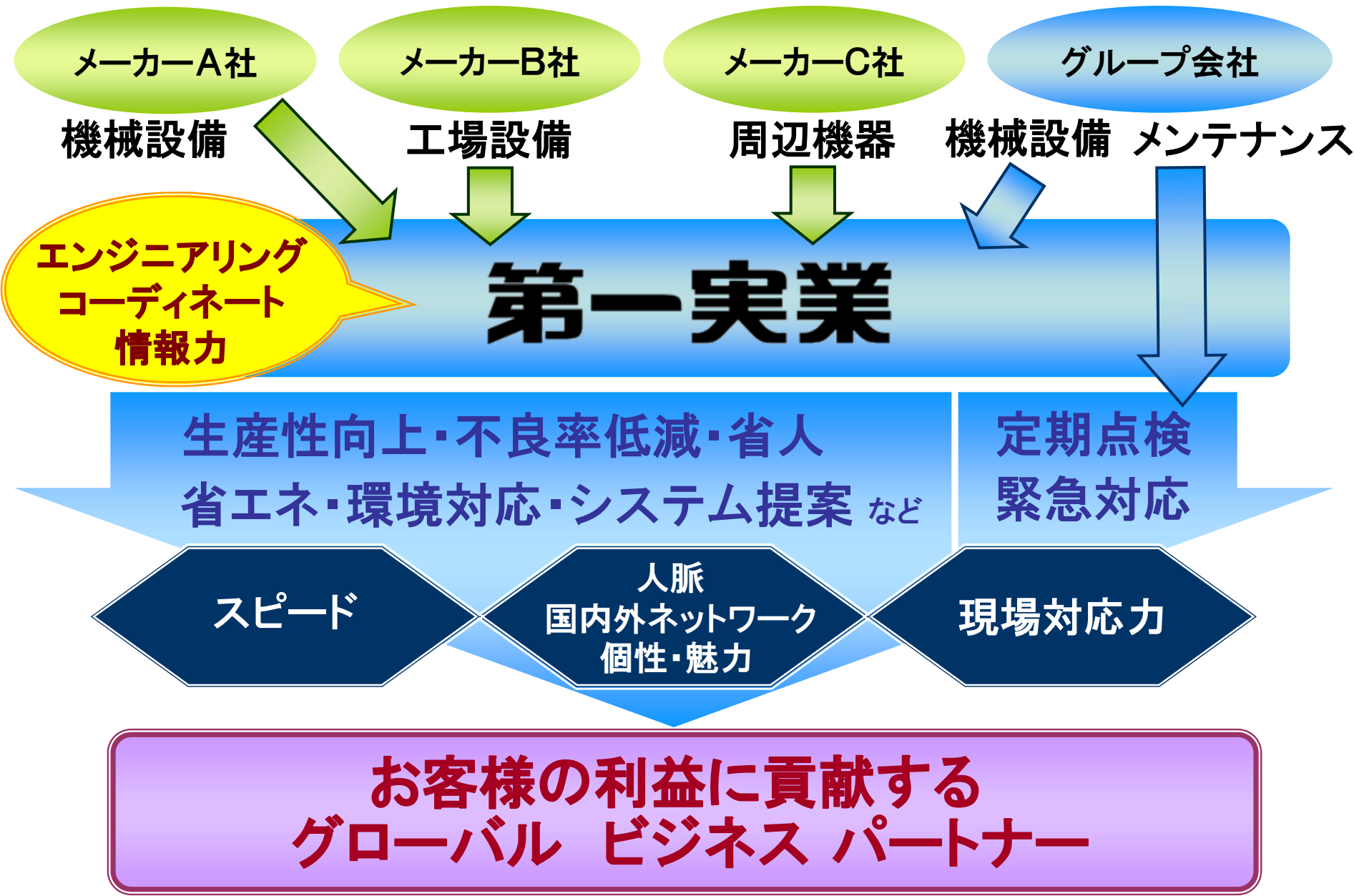
ソウル

### 東南アジア・インド

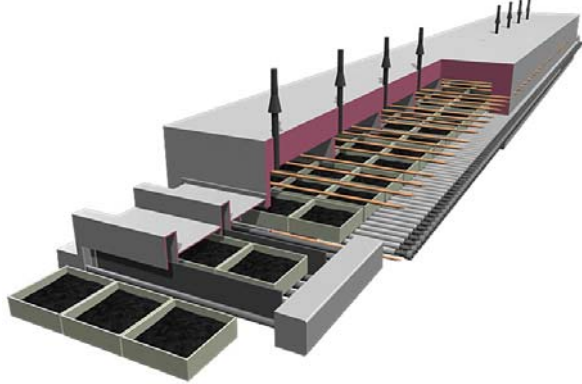
シンガポール クアラルンプール  
バンコク ジャカルタ  
ホーチミン ハノイ  
マニラ ラグナ  
ニューデリー バンガロール

ドーハ





リチウムイオン電池  
ビジネス



小型バイナリー発電  
ビジネス



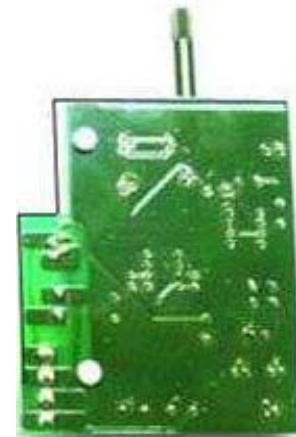
太陽光発電  
ビジネス



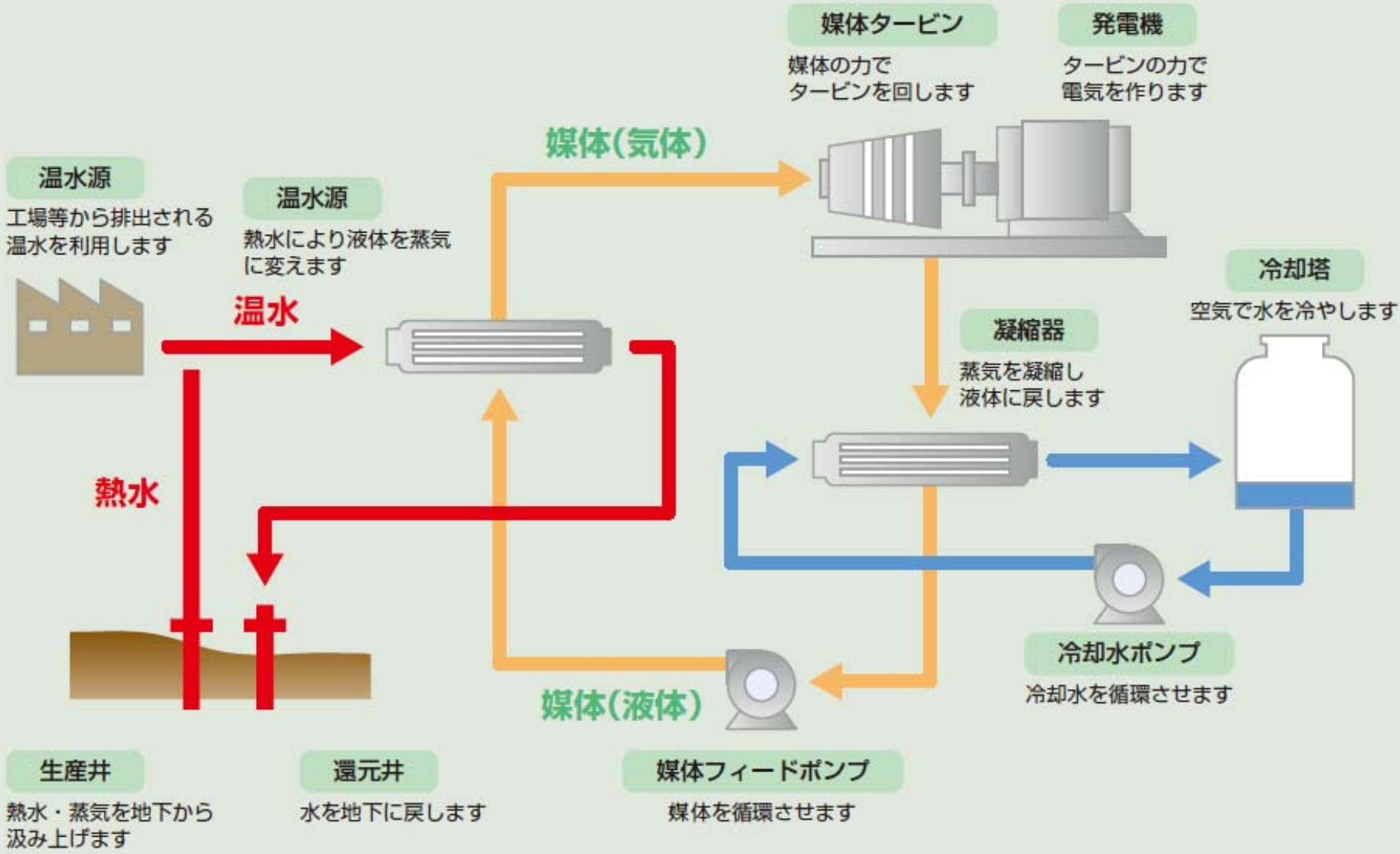
LEDビジネス



大電流基板ビジネス



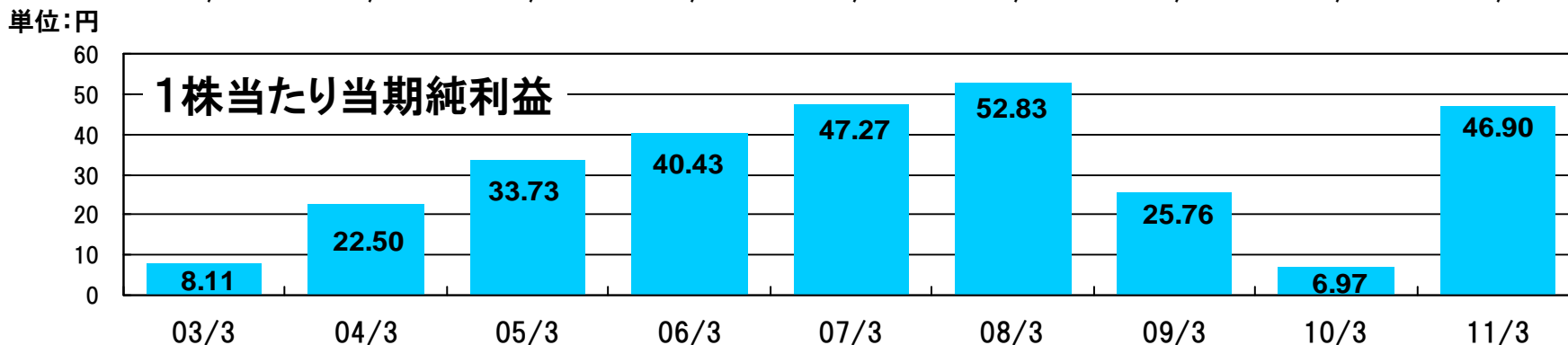
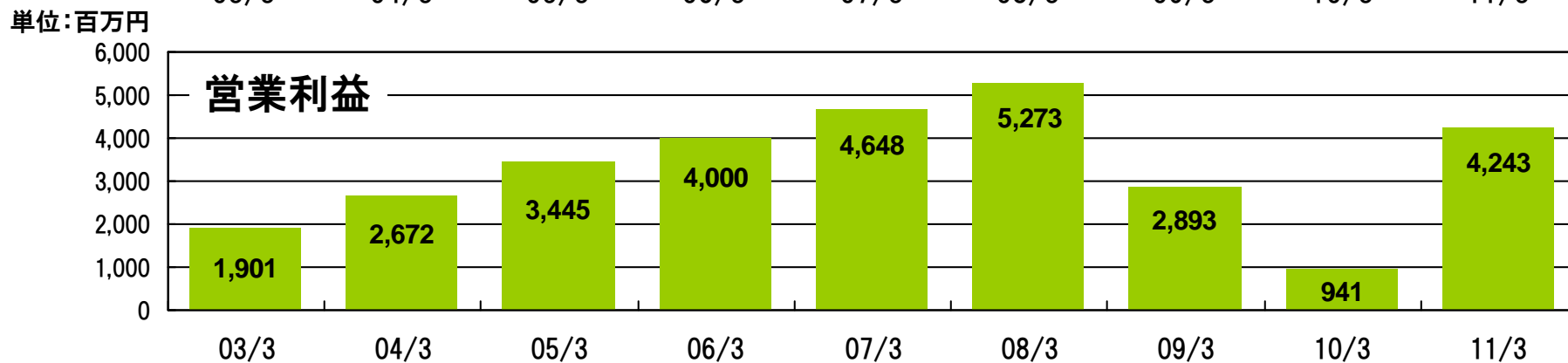
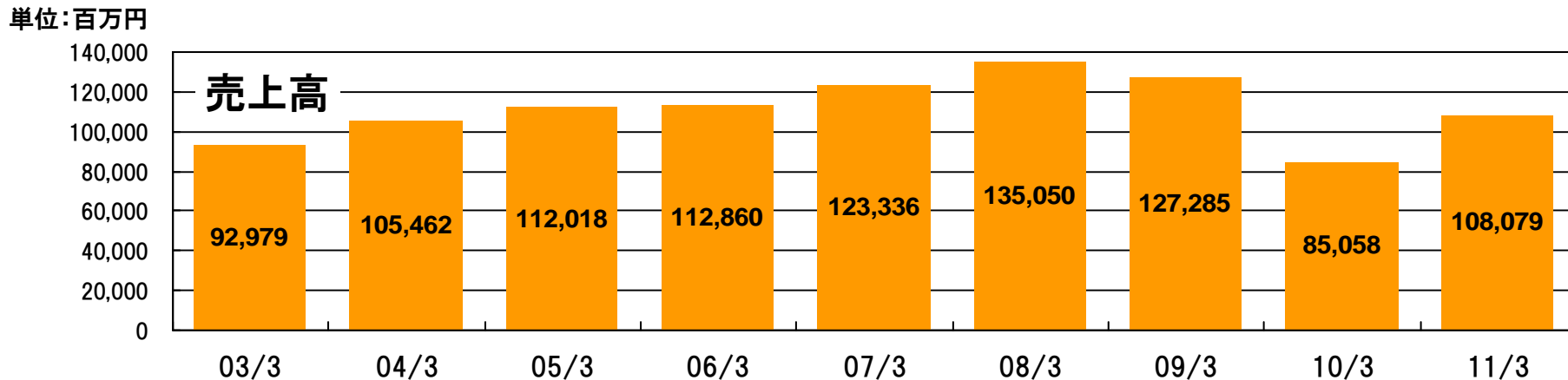




# 業績について

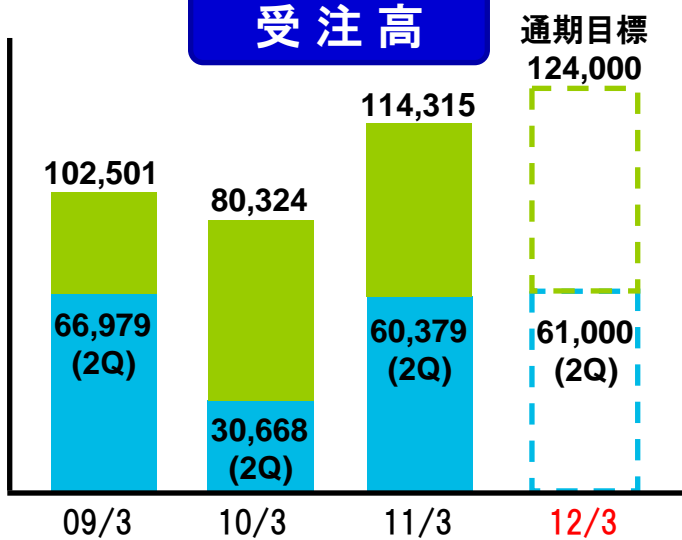
1. 業績推移（連結）
2. 今期業績見通し（連結）
3. 中期経営計画
4. 配当について





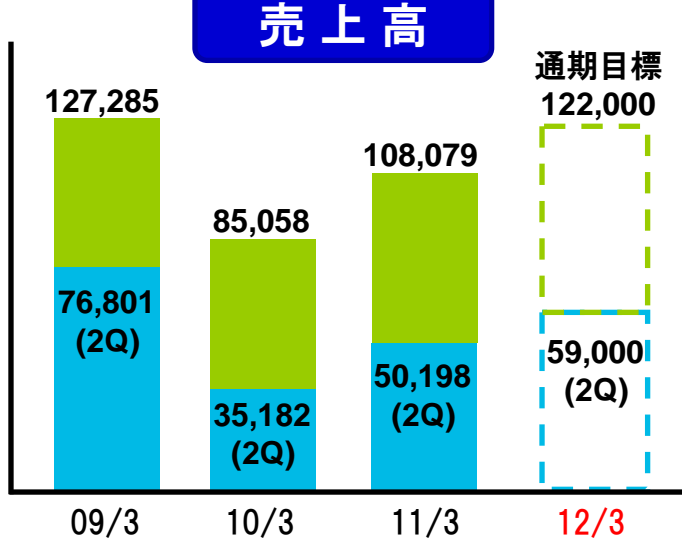
単位  
百万円

**受注高**



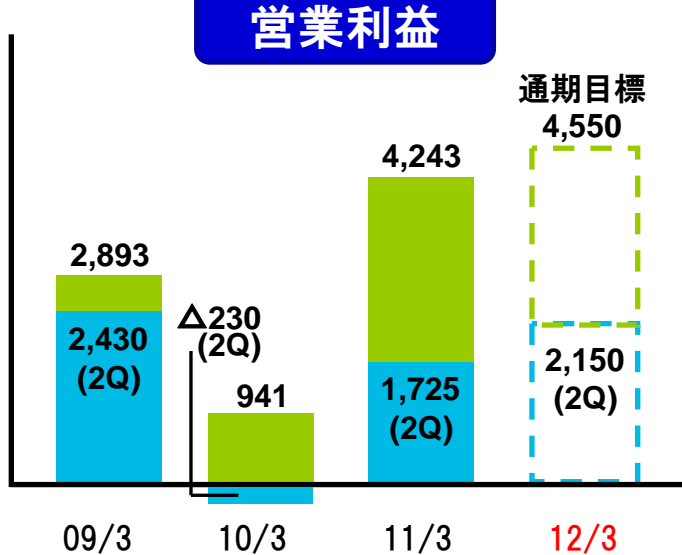
単位  
百万円

**売上高**



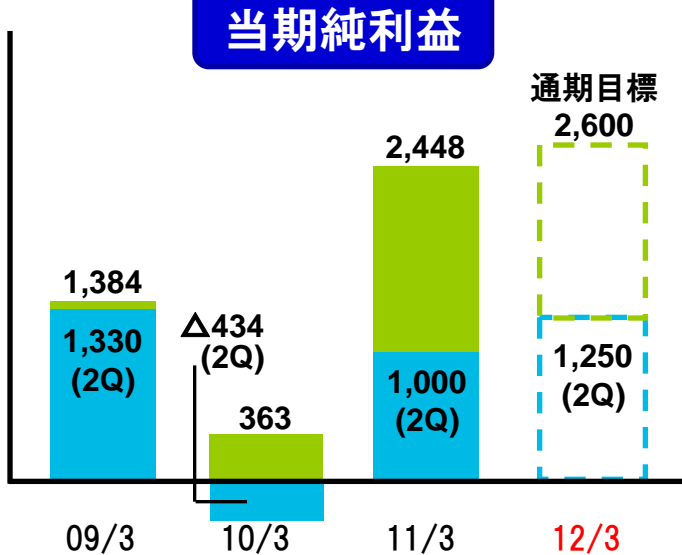
単位  
百万円

**営業利益**



単位  
百万円

**当期純利益**





# 信頼される

## グローバル・ビジネス・クリエイターへの 積極的挑戦！！



### ■ 定量目標 【連結経営目標】

単位：百万円			2011年3月期(実績)	2013年3月期 (計画最終年度)
売	上	高	108,079	127,000
営	業	利 益	4,243	5,100
経	常	利 益	4,362	5,100
当	期	純 利 益	2,448	2,900
総	資	産	73,322	71,000
自	己	資 本	23,280	27,000
有	利	子 負 債	10,560	6,500
R	O	E	10.9%	11.2%
R	O	A	6.8%	7.4%
D	E	R	0.45倍	0.24倍

### ■ 定性目標

#### 事業収益基盤の強化と拡大

- グローバル展開の更なる推進
- 新規成長分野への取組み強化
- コア・ビジネスの徹底強化

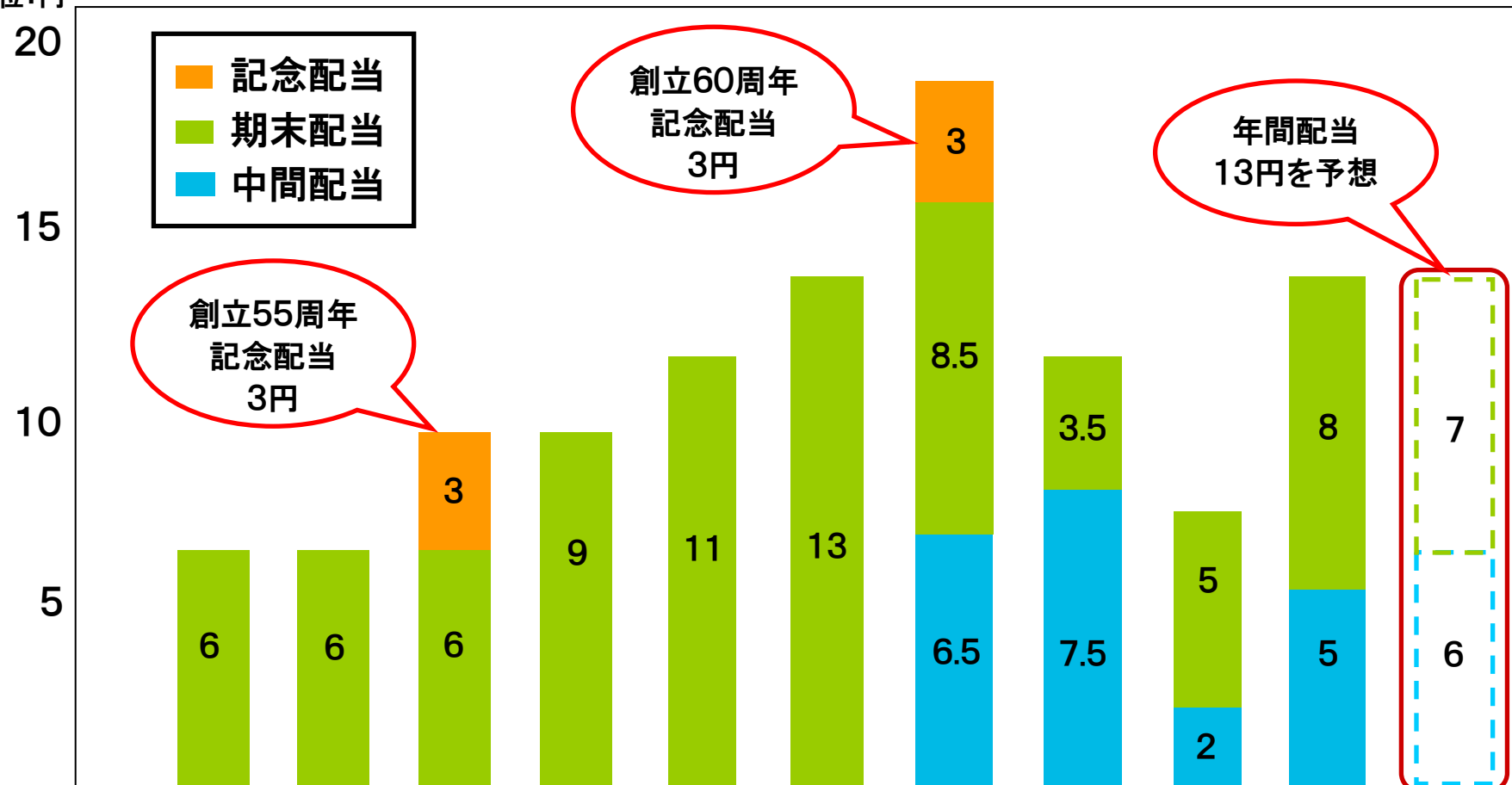
#### 連結経営の高度化・効率化の推進

- 財務体質の更なる強化
- 組織改革および人財の育成
- 経営システムの整備・強化

◆ 2012年3月期年間配当は、業績および配当性向等を考慮し13円を予想

◆ 配当性向は単体利益に対して30%～50%を目処

単位:円



	02/3	03/3	04/3	05/3	06/3	07/3	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3
配当性向(%)	48.5	102.4	46.1	31.7	35.5	35.2	42.2	39.5	39.7	37.7	32.3

## 第一実業株式会社 DAIICHI JITSUGYO CO., LTD.

商号	第一実業株式会社 DAIICHI JITSUGYO CO., LTD.
本社所在地	東京都千代田区二番町11番19号
代表者	代表取締役社長 山片康司
設立	1948年(昭和23年)8月12日
資本金	5,105百万円
株式上場	東証一部 (証券コード:8059)
事業内容	プラントおよび機械器具の輸出入、国内販売
連結売上高	108,079百万円
グループ会社	国内10社 海外19社 合計29社
従業員数	グループ全体 1,078名
株主数	7,868名



東京本社

# ご参考

1. 受け継がれる創業の精神
2. DJKの歩み
3. 投資家の皆様に対する行動規範
4. コーポレートガバナンス





第二次世界大戦終結後、さまざまな産業分野を独占していた財閥が解体され、市場に競争原理が導入されました。このとき解体された「浅野財閥」に関わる人材の中から、後の第一実業株式会社の創業メンバーが輩出されました。

1948年(昭和23年)8月12日、後に初代社長となる倉持正次郎を含む全7名を発起人として会社を設立。商号を「**第一実業**」と定め「**機械専門の商事会社**」としての一步を踏み出しました。

創業後、倉持は、「**社是三原則**」を打ち出しました。

この「**協力一致 堅実運営 積極活動**」という社是三原則は、創立63年を過ぎた現在もなお当社の企業風土に脈々と受け継がれております。

倉持は、当時横行していた闇取引を一切認めず、下記のことを徹底いたしました。

1. **機械の売り買いのみに徹する**
2. **大企業・一流企業を取引相手とする**
3. **銀行との信頼関係を大切にする**

投機性のない商売を地道に続け、信頼できる相手を選び、毎月銀行に業績報告し続けた結果、当社は**誠実で堅実な企業**として周囲の信頼を獲得し、着実に成長してまいりました。このような精神も、現在の当社に深く根付いております。



初代社長倉持正次郎(中央)



社是三原則

沿革

【1948年】

石油・石油精製・製紙関連  
事業で実績を積む



【1956年頃】

石油を原料とする  
プラスチック関連事業への参入



【1980年頃】

エレクトロニクス・  
医薬品関連事業への参入



【2008年～】

新エネルギー関連事業への参入



【1990年頃】

航空関連事業への参入



1948～1970

1971～1990

1991～2010

- 1948 資本金48万円にて東京都品川区に創立  
石油・石油精製・製紙関連事業を開拓
- 1952 大阪出張所を開設し、関西へ進出
- 1956 プラスチック関連事業への参入
- 1962 台湾に初の海外事業所を開設  
東京証券取引所第二部に上場
- 1964 自動車関連事業への参入
- 1970 子会社第一機械サービス(株)を設立  
(現株第一メカテック)

- 1974 東京証券取引所第一部に上場
- 1979 医薬品関連事業への参入
- 1982 エレクトロニクス関連事業への参入
- 1989 第32回増資により資本金51億500万円
- 1990 航空関連事業への参入

- 2004 (株)ルネサスハイコンポーネンツより半導体  
検査装置事業等譲り受け、第一実業テク  
ノロジ(株)(現株DJTECH)を設立
- 2005 カネボウビジョンシステム(株)を買収し、  
第一実業ビスウィル(株)に商号変更
- 2007 国内全事業所でISO14001認証を取得
- 2008 日本格付研究所より「BBB+(安定的)」の  
評価を取得  
新エネルギー関連事業への参入
- 2009 (株)浅野研究所を持分法適用会社化
- 2010 DJKイノバリュー(株)を設立

### ディスクロージャー

役職員は投資家の皆様に対し、投資判断に関わる重要な情報を正確にお伝えしてまいります。それらの情報の多くは、投資家の皆様が理解しやすい形で公表いたします。

### 正確な記録

ディスクロージャーの前提は、正確な記録です。ビジネスに関するあらゆる情報は、法令・ルールに従い、正しく記録いたします。

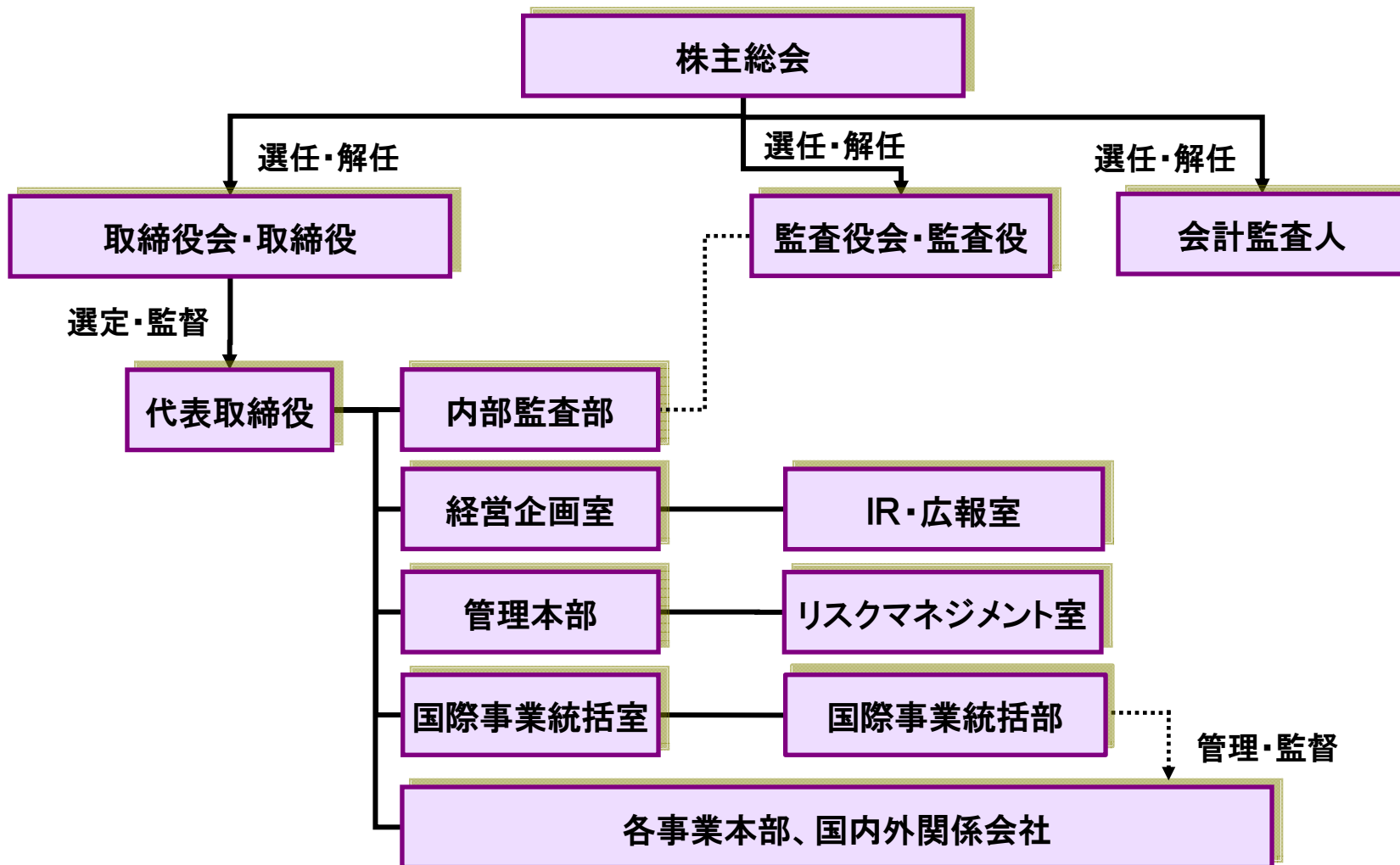
### 内部監査の重視

当社は、投資家の皆様の利益を守るため、中立的な観点からビジネスのあり方をチェックする内部監査システムが機能しております。

### 投資家の皆様との コミュニケーション

投資家の皆様には、私たちが「利益と倫理が相反する場合、倫理を選択すること」を確認し、それが結果として会社の利益になることをお伝えしてまいります。

当社は、グローバル競争に勝ち抜く企業力強化を図る観点から、経営判断の的確かつ迅速化を推し進めると同時に経営の透明化のために経営チェック機能の充実を重要課題の一つとして位置づけております。



資料中の詳細情報および最新情報などについては、当社ホームページに掲載しております。是非ご覧ください。

【第一実業株式会社ホームページ <http://www.djk.co.jp/>】



第一実業

検索

ご不明な点、ご質問等がございましたら下記へお問合せください。

IR・広報室 TEL: 03-5214-8611